

5

【百科事典の記述の一部】

サクラ【桜】
 日本のサクラは、美しく、たくさんの種類がある。
 ～（中略）～
 サクラは、古くから日本の人々に親しまれている。花見は、サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事として広く行われている。また、サクラは、短歌や俳句などの題材として取り上げられている。
 サクラは、日常の生活の中でも使われている。塩づけにしたサクラの葉でもちをくるんだものは、桜もちと呼ばれる。桜湯とは、塩づけにしたサクラの花を湯に入れたもので、お祝いのときなどに飲まれている。サクラの樹皮は、皿や茶づつなどの工芸品として使われている。
 ～（内容が続く）～



▲サクラ
 (ソメイヨシノ)

野村さんは、サクラについて興味をもち、百科事典で調べて分かったことをノートにまとめました。
 ア・イ の中に入るふさわしい言葉を、【百科事典の記述の一部】の中からそれぞれぬき出しましょう。

【ノートの一部】

サクラ<桜>

<ul style="list-style-type: none"> ○ 花見…サクラの花を見て楽しみ、春の訪れを感じる行事 ○ 短歌や俳句…サクラを題材として取り上げている 	}	親 し ま れ 方
<ul style="list-style-type: none"> ○ 桜もち…塩づけにしたサクラの葉でもちをくるんだもの ○ ア…塩づけにしたサクラの花を湯に入れたもの 	}	食 品
<ul style="list-style-type: none"> ○ 樹皮を使って作られた皿や茶づつなど 	}	イ

～（内容が続く）～